

## 記者会見連絡票

所属部署（ 総合政策課 ）

タイトル
市制 20 周年記念事業の実施について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
さくら市は平成 17 年 3 月 28 日に旧氏家町と旧喜連川町が合併して誕生。 令和 7 年 3 月 28 日に市制 20 周年を迎えるにあたり、式典その他の記念事業を実施する。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
<ul style="list-style-type: none"><li>・令和 7 年 1 月から 12 月を「市制 20 周年記念事業期間」とし、様々な事業を実施する。</li><li>・令和 7 年 3 月 29 日（土）氏家公民館にて記念式典を開催予定。</li><li>・市内小中学生に「私の考える 20 年後のさくら市」というテーマで夏休みの課題として作文を募集予定。</li><li>・桜の記念植樹イベントを実施予定。</li><li>・市民参加型のイベントも検討中。</li><li>・さくら市に複数存在する「〇〇大使」を 20 周年を機に統一する予定。</li><li>・記念事業ロゴマークの公募を 6 月 1 日から開始予定。</li></ul>
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者氏名、電話番号）
総合政策課プロジェクト推進係 大橋航平 TEL:028-681-1113

※ 1 案件ごと 1 枚作成してください。

## 記者会見連絡票

所属部署（ 総合政策課 政策推進室 進化プラン係 ）

タイトル
令和5年度ふるさと納税事業の実績について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
令和5年度の本市へのふるさと納税寄付額が、令和4年度比2倍の6億2千万円超となり過去最高を更新しました。また、寄附件数も同比1.7倍の2万8千件超で過去最高となりました。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
<p>寄付額増加の主な要因は、次の4点です。</p> <p>1点目は、ニッカウキスキーの返礼品の寄附増加です。こちらは市内の工場で作られるウイスキーが人気で、PRパンフレットの配布やメールマガジンの配信等により、寄附者への周知拡大を実施したことが寄附につながりました。</p> <p>2点目は、いちごの返礼品の寄附増加です。昨年度は新たな市内事業者にも協力いただき、在庫数の増加となりました。また、いちごの梱包方法や配送対応も改善したことで、寄附者からの高評価レビューが増え、新規の寄附獲得につながったと思われます。</p> <p>3点目は、新規返礼品の掲載です。昨年度は新たに約100件の返礼品掲載を始めました。様々な返礼品を追加したことで、本市の新たな魅力をPRし、寄附額の底上げができたと感じております。</p> <p>4点目は返礼品を掲載するポータルサイトの追加です。昨年度は新たに4つ追加しました。多くのサイトで掲載したことで、本市返礼品の露出が増え、寄付額増加につながりました。</p> <p>今年度も、更なる寄付額増加と地場製品のPRを進めてまいります。</p>
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
総合政策課 政策推進室 進化プラン係 担当：篠原 028-681-1113

※ 1案件ごと1枚作成してください。

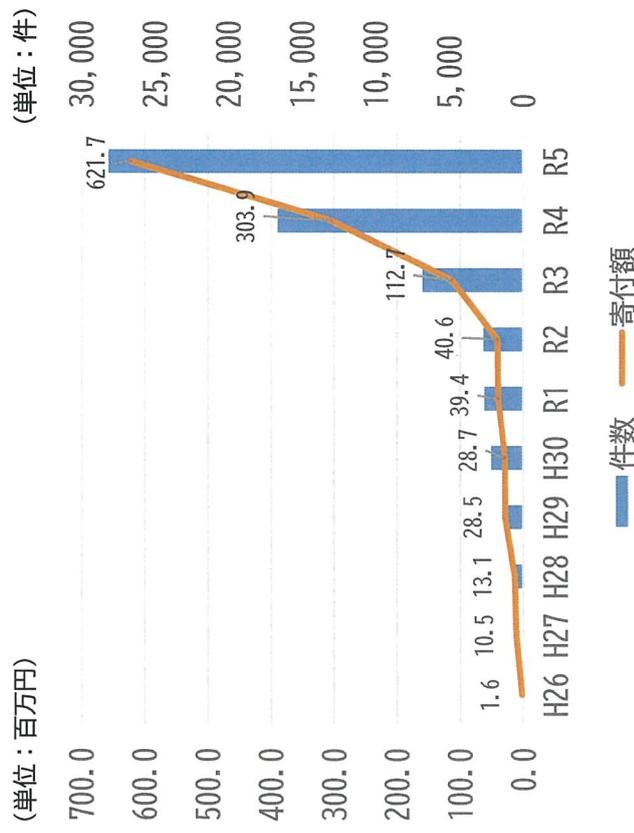
# 令和5年度ふるさと納税事業の実績について

R6.5.27 定例記者会見  
総合政策課

## 寄附総額6億2千万円超、前年度比約2倍

- ①ニッカウキスキー関連の返礼品の寄附額増加
  - ・パンフレット配布、メルマガ配信による周知拡大
  - ・SNSへの返礼品掲載数の増加
  - ⇒寄附額全体の6割強
- ②いちごの返礼品の寄附額増加
  - ・新規協力事業者の登録、在庫数の増加
  - ・梱包・配送対応の向上、高評価レビューの増加
  - ⇒寄附額全体の約1割
- ③返礼品の新規掲載による寄附総額の底上げ
  - ・約100品を追加、本市特産品のPRに寄与
- ④ポータルサイト4社追加、現在14サイト利用
  - ・幅広い経済圏で返礼品を掲載、更なる周知の拡大に

寄付額および件数の推移（過去10年間）



寄付額および件数（詳細）

年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
件数 (件)	27	59	541	1,041	2,161	2,646	2,685	6,834	16,676	28,180
寄付額 (円)	1,643,606	10,579,060	13,147,388	28,527,873	28,745,049	39,407,318	40,628,834	112,739,365	303,997,246	621,719,009

## 記者会見連絡票

所属部署（生活環境課）

タイトル
さくら市「涼み処」の設置について
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
<p>市では、6月1日より、市民の暑さ対策として、エアコンが設置されている一部の公共施設を「涼み処」として開放します。</p> <p>どなたでもご利用いただけますので、熱中症の予防対策として、気軽に涼みにいらしてください。</p>
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
<p>エアコン設備が整っている市の一部施設を「涼み処」として市民に開放することで、熱中症対策を促し、市民の安心安全につなげたいと考えております。</p> <p>エアコンが設置されている10の公共施設を「涼み処」として開放します。</p> <p>※開放時間は業務時間内に限ります。</p> <p>今後は、公共施設以外にもさくら市「涼み処」の趣旨に賛同してくださる民間商業施設を募集し、熱中症になる前に避難できる場所を確保したいと考えております。</p> <p>涼み処として開放している施設はポスターを掲示いたします。</p> <p><b>【開放公共施設一覧】</b></p> <p>本庁舎、喜連川庁舎、公民館（氏家・喜連川）、図書館（氏家・喜連川）、保健センター（氏家・喜連川）、まちなか保健室さくら、市民活動支援センター</p> <p>上記の10施設は熱中症特別警戒アラート発令時に開放する気候変動適応法に基づく「指定暑熱避難施設」に指定していますが、発令時以外にも業務時間内は「涼み処」として開放します。</p>
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
生活環境課 環境保全係 物井 028-681-1126

※ 1案件ごと1枚作成してください。

# さくら市「涼み処」のご利用について

空調稼働している涼しい公共施設や、商業施設等を開放し、市民の皆様にご利用していただくことで、家庭の節電につなげるとともに、地域経済の活性化、熱中症対策となることを目的として、「涼み処」を設置することとしました。どなたでもご利用いただけますので、熱中症の予防対策として、気軽に涼みにいらしてください。

## 実施期間・開設箇所

実施期間：令和6年6月から10月末日まで

開設箇所	
施設名	住所
市役所庁舎	氏家2771
喜連川庁舎	喜連川4420-1
氏家公民館	櫻野1322-8
喜連川公民館	喜連川4397-1
氏家図書館	櫻野1321
喜連川図書館	喜連川4397-1
氏家保健センター	櫻野1319-3
喜連川保健センター	喜連川807-8
まちなか保健室さくら	氏家1843-30
市民活動支援センター	氏家1857

開設日は、**施設の業務時間内に限ります。**  
核施設の業務時間はHPなどから確認をお願いします。

各施設のマナーを守り、ソファ、イス等をご利用の際には譲り合いでの活用をお願いします。

涼み処として開放している施設は、以下のポスターを掲示しています。↓



## 「涼み処」にご協力頂ける商業施設様を募集しています！！

この試みに賛同して下さる民間の事業者様を募集しております。施設内へ休憩用ベンチの設置、お水の提供、割引サービスなど、各事業者様のアイデアで市民の皆様を迎え入れていただけませんか。設置期間は毎年6月から10月末日までとし、市ホームページ等で周知いたします。

### 設置要件

- (1) さくら市内の公共施設、商業施設であること。
- (2) 自由に入出りが可能な施設であること。
- (3) 冷房が効いている施設で、無料で休憩できるスペースの提供が可能であり、イス等の設置により、一定時間涼むとができる施設であること。

### 申込方法

別紙申込書を生活環境課まで提出してください。

※電子申請フォームからも申込みいただけます。⇒



さくら市  
生活環境課環境保全係  
028-681-1126

別記様式（第7条関係）

## 記者会見連絡票

所属部署（ 総合政策課 ）

タイトル
5・6月のさくら市イベント等情報
概要（発表内容を簡単に記入してください。）
今回は発刊されたふるさとゆかりの偉人マンガ「足利島子」とさくら市ミュージアム、瀧澤家住宅で行われる、展覧会情報をお知らせします。
内容（発表内容のポイントを記入してください。別紙資料でも可能。）
<p>① ふるさとゆかりの偉人マンガ「足利島子」</p> <p>公益財団法人 B&amp;G 財団による「ふるさとゆかりの偉人マンガの製作と活用事業」の助成を受け、橋本啓二教育長を実行委員長に、学識者をはじめ喜連川公方足利氏の会の方やさくら市観光ボランティアの方などを実行委員とした「ふるさとゆかりの偉人マンガ製作実行委員会」がマンガ 3,000 部を製作しました。</p> <p>作成したマンガは、さくら市内の小学校 5・6 年生と中学校 1 年生に配布し、授業で活用するとともに県内図書館などにも配布いたします。</p> <p>また、一般の方にもさくら市の偉人「足利島子」の周知と知名度向上を図るため、500 部を販売用として一冊 600 円でさくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—および喜連川・和い話し広場にて、販売を行っております。</p> <p>※マンガのあらすじは別紙</p> <p>②時の鏡—収蔵作品に見る現在・過去・未来—</p> <p>期日：5月18日（土）から7月7日（日）まで</p> <p>場所：さくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—</p> <p>③ 盆栽展</p> <p>期日：5月31日（金）から6月2日（日）</p> <p>場所：瀧澤家住宅</p> <p>①～③ 担当はさくら市ミュージアム—荒井寛方記念館—</p> <p>注1）より詳細な内容や写真などの提供を求める場合は、担当課にご連絡ください。</p> <p>注2）ここに掲載の事業につきましては、当日取材可能事業です</p>
本件に関する報道機関からのお問い合わせ先（所属、担当者名、電話番号）
総合政策部 総合政策課 秘書広報戦略室 室長 池田
電話 028-681-1113

※ 1案件ごと1枚作成してください。

## 【マンガの概要】

今回製作したマンガはコラムなどを含めて 100 p です。

大きさは B6 判（横 12.8cm×縦 18.2 c m）

## 【あらすじ】

### 喜連川のクレオパトラ

#### —喜連川足利氏誕生のきっかけを作った「足利島子」の生涯をたどる—

喜連川足利氏は、室町時代関東を治めていた足利尊氏の子・基氏（もとうじ）から始まる「鎌倉公方」（かまくらくぼう）の血筋を引く家です。鎌倉公方は戦国時代には古河公方（こがくぼう）と小弓公方（おゆみくぼう）に分かれており、島子は小弓公方の家に生まれ、戦国時代末期喜連川を治めていた塩谷義上（しおのや よしひさ）のもとへ嫁ぎました。しかし、小田原合戦で義上が秀吉のもとに参陣しなかったため、塩谷氏は改易となってしまいます。残された島子は天下人となった秀吉のもとへ行き、由緒ある鎌倉公方の存続を願い出ます。跡継ぎがない古河公方家と小田原北条氏に脅かされていた小弓公方の両家存続を危惧し、豊臣家と喜連川をつなぐ役目を果たしたのです。島子は秀吉の側室として京都へ行き、喜連川の地は、古河・小弓公方が一つとなった喜連川足利氏が誕生しました。秀吉死後、島子は出家して月桂院（げっけいいん）となりましたが、出家した後も、徳川家康の娘・振姫とともに会津に行くなど、天下人との関係を保ち、喜連川家存続に貢献しました。

喜連川では島子の弟・頼氏が町割りをおこない現在の喜連川の市街地の原型を作るなど、新しい時代の基盤を整備しました。

喜連川家は江戸時代を通じて、江戸幕府から足利尊氏から始まる特別な由緒を持つ家として特別ともいえる待遇を受けましたが、その由来には島子の功績なくしては語れません。

本書は島子の波乱に満ちた生涯と足利の由緒と伝統をマンガでわかりやすく紹介しています。

マンガふるさとの偉人

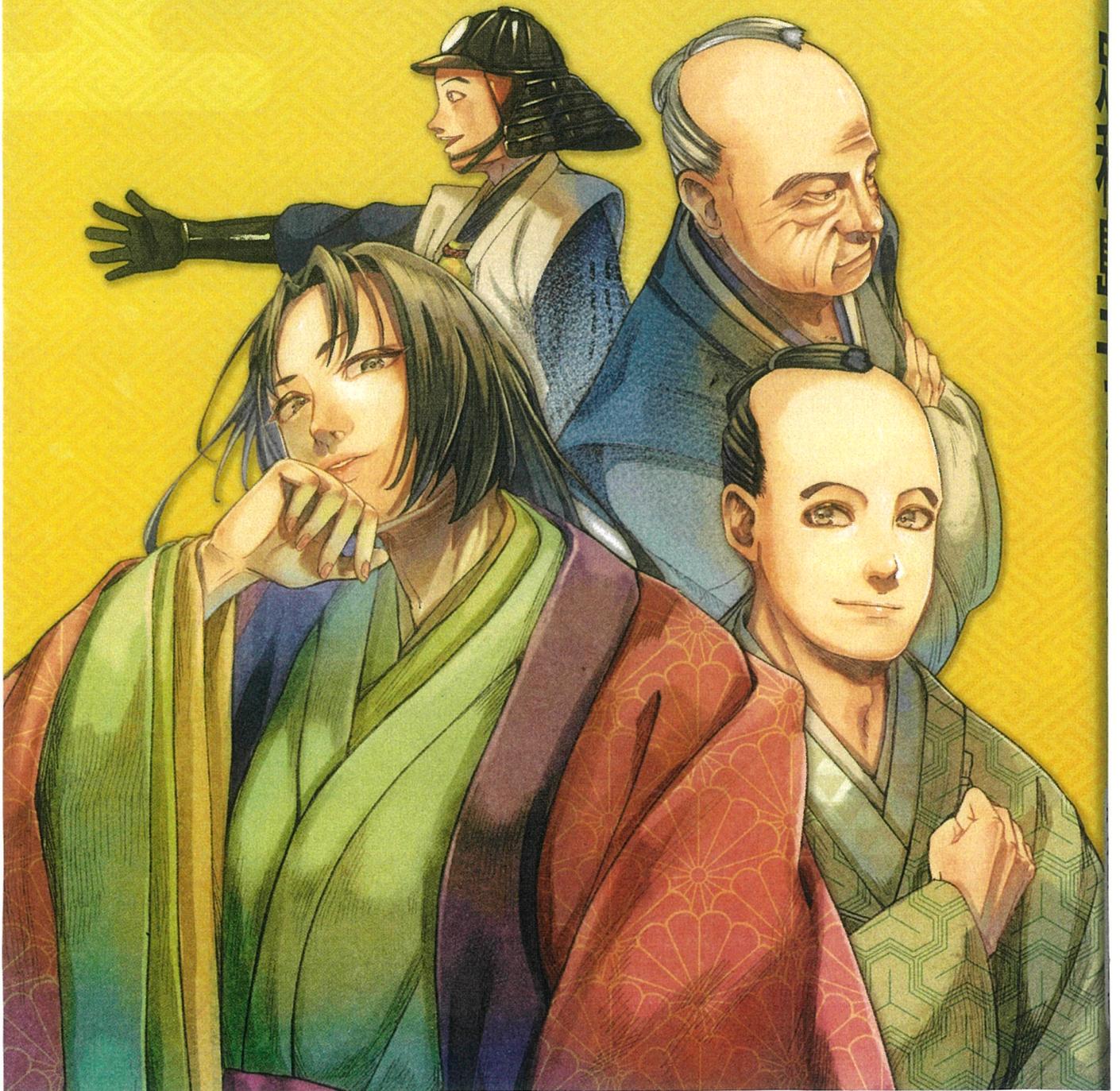
あし

かが

しま

こ

# 足利島子





# 時の鏡

← 収藏品に見る →  
現在・過去・未来

2024  
5/18  
SAT.  
7/07  
SUN.

✦ 開館時間 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分までに)  
✦ 主催 さくら市ミュージアム ー荒井寛方記念館ー  
✦ 休館日 月曜日・第3火曜日  
✦ 観覧料

一般	高校・大学生	小・中学生
300(210)円	200(140)円	100(70)円

※( )内は20名以上の団体料金 ※さくら市内70歳以上の方および  
※未就学児は無料 障がい者手帳をお持ちの方と、  
※さくら市内の小中学生は無料 その介護者1名は半額



さくら市ミュージアムー荒井寛方記念館ー さくら市ミュージアム 検索  
〒329-1311 栃木県さくら市氏家 1297 TEL:028-682-7123



さくら市ミュージアム－荒井寛方記念館－は今年度開館31年目を迎えます。30年の節目を超えて、新たな次世代の第一歩を踏み出す大切な1年ととらえています。

博物館における3つの重要な活動は、調査・研究、保存・修復、展示・公開です。これらのバランスが守られてこそ博物館としての健全な姿が継承されていくものです。そして、博物館に収蔵されている資料（作品）は、その地域のアイデンティティーを知る重要なものです。そこで、このたびは博物館収蔵資料の中から、展示資料の各分野における特筆すべきものを選び紹介します。歴史、美術、民俗の分野においてそれぞれの資料に関する人とのかわりを知ることが、資料が「時の鏡」となって、観る人にかつての暮らしや、芸術感を映し出し、地域文化について改めて知る機会となるでしょう。

さくら市ミュージアムがこれからも継承・発展していくために、改めて地域の歴史文化に触れ、現在を知り、未来へ思いをはせる展覧会となるよう開催いたします。

## プロローグ

### さくら市ミュージアムの成り立ち

ミュージアム設立の原動力のひとつとなった「寛方会」を中心に文化活動を紹介しながら、荒井寛方作品を展示します。



「普賢菩薩」1945年 栃木県指定文化財  
 「弁財天」1919年頃  
 「帝釈天」1926年  
 「十六羅漢」1926年  
 「聖観音」1942年頃  
 荒井寛方作品

## さくら市の昔話

さくら市制20周年に先駆けて、合併旧両町に伝わる昔話「絵本うしいえ音ばなし」「喜連川のむかしばなし」など地域に伝わる伝説を紹介いたします。



「絵のある土器」 「勝山城と不動明王」  
 「そうめん地蔵」 「野仏」 「明治の塔」  
 杉山吉伸作品

## 伝える

時代を超えて情報の発信は、人々に大きな影響を与えてきました。時代の流れとともに様式を変えて未来へと発展していく情報発信の身近な資料を紹介します。



おしながき看板 ラジオ



テレビ 時計 たばこ看板  
 昭和期

## 特別展示

### マンガふるさとの偉人 足利島子

喜連川足利氏誕生のきっかけとなった足利島子の生涯を記したマンガ発刊（公益財団法人 B&G 財団助成）を記念して、足利家と島子、喜連川の歴史を紹介いたします。



マンガふるさとの偉人 足利島子

## ふるさとの名所・景色より

ミュージアムの開館以来収蔵してきた美術絵画の中から、ふるさとの景色が描かれているもの、さくら市出身作家や関連作家などの日本画、洋画作品を展示します。



窪井裕美「夜話の森」2010年  
 荒井孝「將軍桜」2011年  
 小野政吉「自画像」  
 松本哲男「那須岳」

## さくら市原始古代

1万年前のさくら市の姿は？考古歴史資料の収蔵品から、さくら市を代表とする遺物を詳しく紹介します。



ハート形土偶 縄文時代後期 ハットや遺跡出土 さくら市指定文化財  
 尖頭器 縄文時代草創期 治武エ門遺跡出土 さくら市指定文化財  
 縄文土器（中峠式） 縄文時代中期 ハットや遺跡出土 さくら市指定文化財

## エピローグ

### 現在・過去そして未来へ

人々が乗り越えてきた災害の歴史を振り返り、先人の想いを未来へとつないでいきます。



五拾里記 5拾里記 1723年  
 氏家記録伝 1775年 さくら市指定文化財

## 展覧会みどころ解説

6月 1日（土）午後1時30分～  
 6月 22日（土）午後1時30分～

※事前申し込制 20組  
 ※要観覧料  
 （未就学児・さくら市内小中学生は無料）



申込はこちら▲  
 (Logo フォーム)

クイズあり♪プチプレゼントあり♪

## ミュージアムデビュー親子で鑑賞 「ミュージアムっておもしろい！」

6月 8日（土）午後1時30分～  
 7月 6日（土）午後1時30分～

※事前申し込制 20組  
 ※要観覧料  
 （未就学児・さくら市内小中学生は無料）



申込はこちら▲  
 (Logo フォーム)

## 氏家喜連川歴史文化研究会 講演会

「地方官衙と東山道  
 ～上神主・茂原官衙遺跡出土の刻書瓦について～」

日本考古学会協会会員 今平利率氏

6月 29日（土）午後2時～  
 ※申込不要、先着60名、参加無料

## 市民ギャラリー展覧会情報

パッチワーク展示会 5月30日（木）～6月 2日（日）  
 塩谷地区美術協会展 6月19日（水）～6月23日（日）

## 瀧澤家住宅展覧会情報

さくら市櫻野 1365 電話 028-682-2176  
 開館時間 午前9時～午後3時30分（最終入館：午後3時）  
 観覧料 一般100円、学生以下無料  
 休館日 月曜日、第3火曜日、その他展示替え休館

さんやそうてん  
 山野草展  
 5月24日（金）～5月26日（日）

さくら市盆栽会作品展  
 5月31日（金）～6月 2日（日）

うのはな手まりの会作品展  
 6月19日（水）～7月21日（日）

栃木県指定文化財 瀧澤家住宅展覧会

# 山野草展

ナンジャモンジャ

令和6年

5月24日(金)

▶ 26日(日)

午前9時～午後3時30分

(入館は午後3時まで)

場所 | 瀧澤家住宅

観覧料 | 一般100円

※学生以下無料

駐車場 | 瀧澤家住宅向側

普通自動車12台、

軽自動車2台

栃木県指定文化財 瀧澤家住宅 TEL 028-682-2176

主催：山野草愛好会、さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-



ユキザサ



シラネアオイ

# 山野草展

山野草は誰でも家に、一鉢か二鉢持っている身近な植物ですが、育てる人によって個性が出ます。

自分らしい木や花、草と鉢とのバランスや苔の使い方・花台を選ぶのも山野草の楽しみ方のひとつです。

毎日の生活に身近な花や草の鉢植えを取り入れて飾って楽しんで頂く、少しでもそのヒントになればうれしいです。

今回は多種、多様な山野草小品盆栽など会員7人が丹精し作り上げた作品を展示しています。草花1つ1つの良さを見ていただければ幸いです。

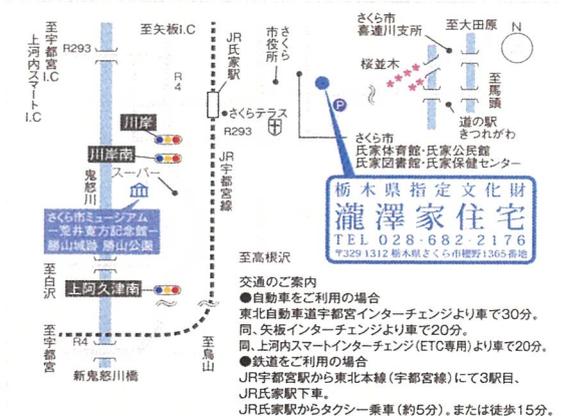
山野草愛好会 会長 内野セツ子



アジュガ

## 瀧澤家住宅 さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-

瀧澤家住宅は、さくら市の櫻野地区の旧奥州街道沿いにあります。通りに面して伝統的な塀を巡らし、堂々たる長屋門を構えるなど、旧家の面影を留め、明治期の重厚な雰囲気や良さを残しています。平成10(1998)年に、建築遺産として歴史的な価値が認められ鐵竹堂(てっちくどう)、蔵座敷(くらざしき)、長屋門(ながやもん)の3棟が「瀧澤家住宅」として県指定文化財になりました。これらの建物は明治時代から大正時代にかけて活躍した実業家「瀧澤喜平治」によって建てられました。邸宅は明治25(1892)年陸軍大演習の際には、明治天皇の休息所となるなど旧氏家地区の歴史を語るシンボルになっています。



お問い合わせ

さくら市ミュージアム-荒井寛方記念館-

栃木県さくら市氏家 1297

TEL 028-682-7123

2024年5月27日(月)

栃木県 さくら市役所

## 100年愛された早乙女の桜並木の伐採木を活用した 「ジェットストリーム 多機能ペン 4&1」 6月1日から道の駅きつれがわで数量限定発売

栃木県さくら市の「早乙女<sup>さうとめ</sup>の桜並木」は「とちぎ景勝百選」にも認定され、桜の名所として多くの方々に親しまれてきました。桜並木の桜は1925年(大正14年)に地元の青年団が中心となり、県道新設時に町の発展を願って植えたものです。

今回さくら市は三菱鉛筆東京販売株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:市川賢之)に依頼し、2021年から始まった県道拡幅工事に伴いやむを得ず伐採された早乙女桜並木の伐採木をグリップに活用したジェットストリーム 多機能ペン 4&1を750本(ブラック400本、ライトピンク350本、各化粧箱入り)を作成しました。

このペンは、桜並木を愛してきた地域の人々や思いを持つ多くの方々から好評の早乙女桜並木の伐採木を活用した「森のタンブラー SAKURA」に続くものです。

6月1日から道の駅きつれがわで数量限定販売します。



< 伐採前の早乙女の桜並木 >



< 森のタンブラー SAKURA >

< 早乙女の桜並木の伐採木を活用したジェットストリーム 多機能ペン 4&1 >

【参考】

さくら市 HP <https://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/>

〈本件に関するお問い合わせ先〉

さくら市役所 総合政策課 秘書広報戦略室 電話:028-681-1113